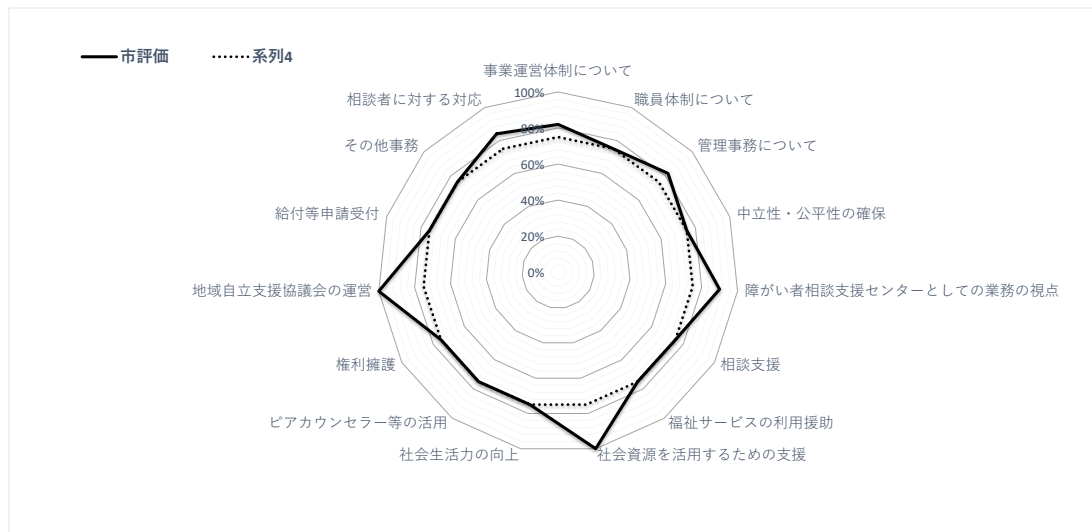


令和7年度 吹田市 障がい者相談者支援センターの業務実施状況の評価結果

センター名:千里山・佐井寺障がい者相談支援センター

法人名:社会福祉法人 さつき福祉会

評価対象年度:令和6年度



※基準値 については、すべての評価項目で○評価の場合(75%)のグラフです。

最終評価結果	
◎評価	10
○評価	28
△評価	0
×評価	0

評価の基準	
◎	委託相談支援事業仕様書を遵守し、地域の窓口としてセンターに求められる以上の役割を果たし、非常によくできている。
○	委託相談支援事業仕様書を遵守し、地域の窓口としてのセンターの役割を果たし、適切である。
△	委託相談支援事業仕様書を概ね遵守しているが、地域の窓口を担うセンターの役割として、一部に課題がある。
×	委託相談支援事業仕様書を遵守しておらず、地域の窓口を担うセンターの役割として、改善が必要である。

評価(評価項目数 計38)に関する市からの総括

令和6年度(2024年度)の相談支援の実績は633件で、令和5年度(2023年度)の535件と比較すると、118%となった。

①組織・運営体制(事業運営体制について4項目、職員体制について4項目、管理事務について4項目、中立性・公平性の確保2項目)

事業計画に示している目標や支援内容に沿って、事業を実施し達成できている。千里山・佐井寺地区全域にチラシを配布したり、多様な障がいを持たれた方に配慮して誰にでもわかりやすいホームページにするなど、地域住民に積極的に周知を図っている。研修計画に基づき、個人情報保護にかかる研修を実施したり、職員の資質向上を図り、専門的な支援を行っていることを評価する。

②センターの役割(障害者相談支援センターとしての業務の視点5項目)

地域で開催される会議に積極的に参加し、多様な関係機関と連携を図りながら、地域住民の課題の把握を行っていることを評価する。複雑で多様な課題を抱えた事例においても、支援者主体ではなく、常に相談者の立場に立ったニーズ把握に努めている。また、視覚、聴覚障がい者への配慮をしたコミュニケーションツールを用いる等、障がい状況に応じたコミュニケーションに取り組んでいる点が評価できる。

③相談支援事業(相談支援2項目、福祉サービスの利用補助3項目、社会資源を活用するための支援3項目、社会生活力の向上2項目、ピアカウンセラー等の活用1項目、権利擁護2項目、地域自立支援協議会の運営1項目、給付等申請受付1項目、その他業務1項目)

丁寧なアセスメントを実施し、場合によっては適切な支援機関につないでいる。関係機関へ引き継いだ後も、必要に応じて後方支援を行うなど、関係機関との連携を図りながら継続的に支援を行っている。自主防災組織づくりや防災マップの作成を通じて、地域住民や関係機関との連携を構築していることを評価する。重層的支援体制を構築するための社会資源の把握に努めており、必要な情報を相談者へ提供できている。

④相談者の満足度(相談者への対応3項目)

毎年、接遇研修を実施しており、言葉遣いや態度、服装等の接遇は適切である。年2回の利用者アンケートを実施しているが、今後も、センターの満足度向上に積極的に取り組むこと。